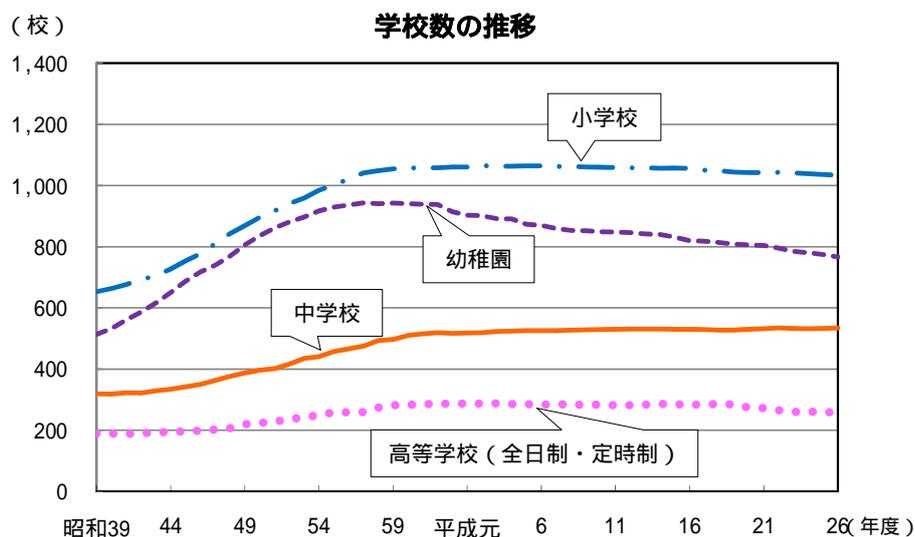


# 調査結果の概要

## 1 学校数

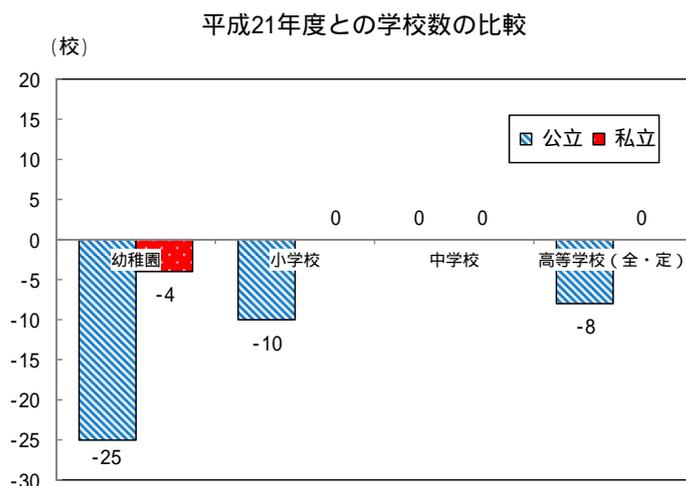
幼稚園は30年連続減少  
 中学校は過去最高

### (1) 学校数の推移



- ・幼稚園は766園で、前年度より8園減少(30年連続減少)
- ・小学校は1,033校で、前年度より3校減少(4年連続減少)
- ・中学校は534校で、前年度より1校増加(平成22年度と同数で過去最高)
- ・高等学校(全日制・定時制)は257校で前年度より3校減少(2年連続減少)

### (2) 公立・私立別、学校種別の学校増減数

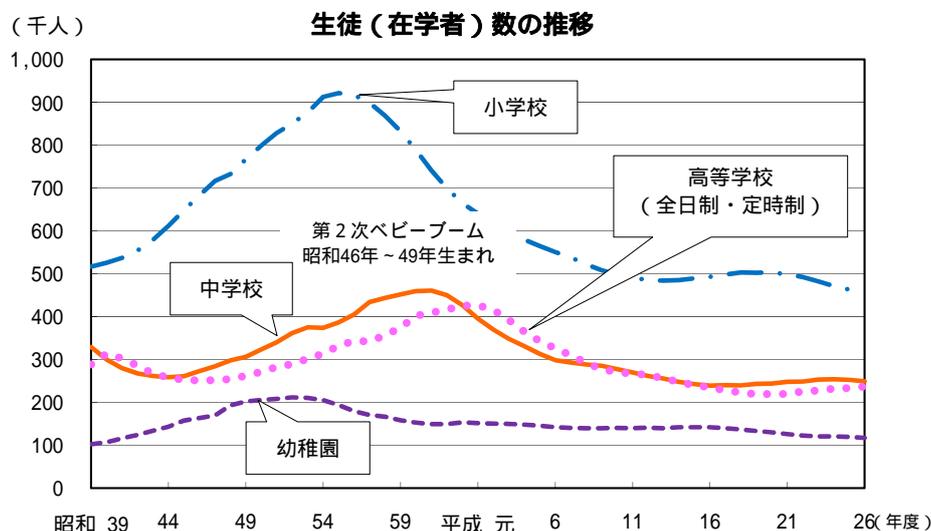


- ・公立は、幼稚園25校、小学校10校、高等学校(全日制・定時制)で8校の減少。中学校は増減なし
- ・私立は、幼稚園が4校減少し、小学校、中学校、高等学校(全日制・定時制)は増減なし

## 2 生徒（在学者）数

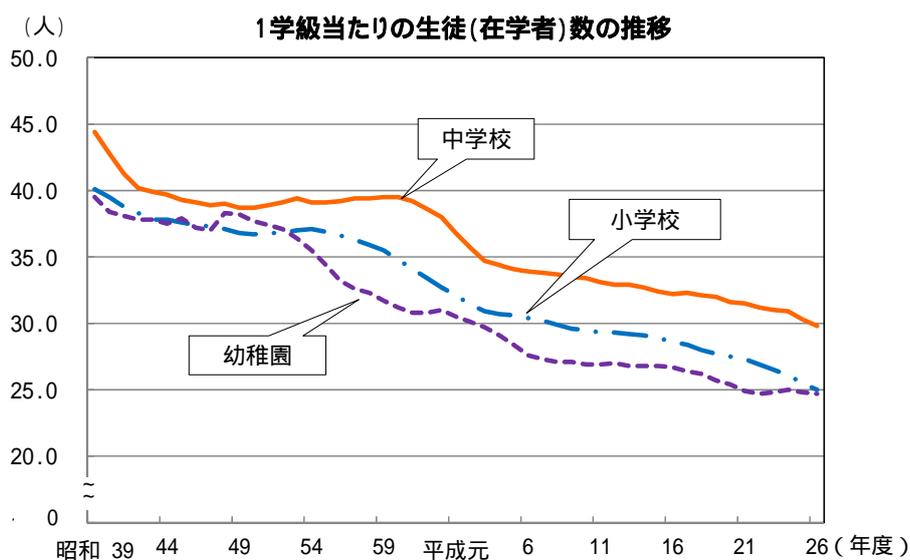
ピーク時の約半数。小学校は初めてピーク時の半数を割込む  
 高等学校（全日制・定時制）は7年連続増加

### （1）生徒（在学者）数の推移



- ・ 幼稚園は11万6,952人で、前年度より2,193人減少（ピーク時 昭和52年度 21万1,460人の55.3%）
- ・ 小学校は45万5,633人で、前年度より7,435人減少（ピーク時 昭和55年度 92万1,519人の49.4%）
- ・ 中学校は24万8,947人で、前年度より3,819人減少（ピーク時 昭和61年度 46万931人の54.0%）
- ・ 高等学校（全日制・定時制）は23万6,529人で、前年度より3,534人増加  
 （ピーク時 平成元年度 42万6,706人の55.4%）

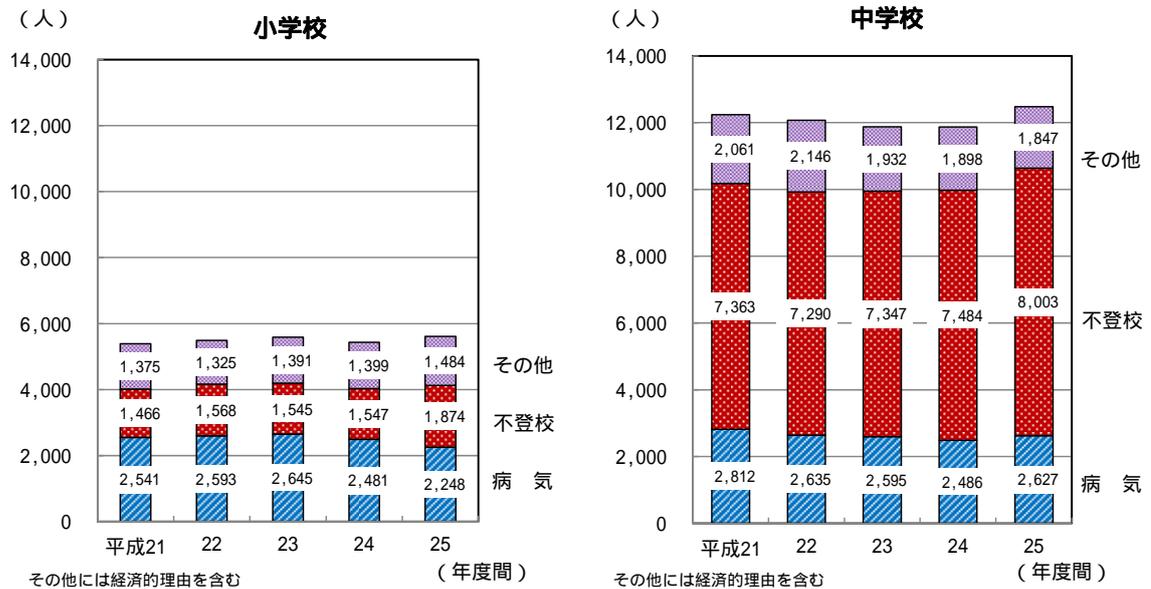
### （2）1学級当たりの生徒（在学者）数の推移



- ・ 幼稚園は24.7人で、前年度より0.1人減少（2年連続減少）
- ・ 小学校は25.0人で、前年度より0.4人減少（35年連続減少）
- ・ 中学校は29.8人で、前年度より0.5人減少（9年連続減少）

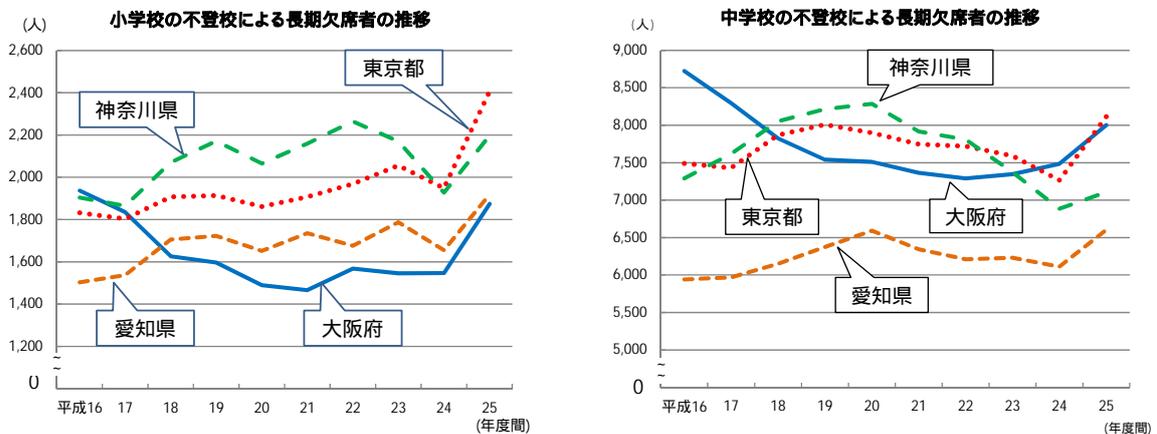
### 3 長期欠席者数

#### (1) 理由別長期欠席者数の推移



- ・ 小学校は5,606人で、前年度間より179人増加（前年度より増加）
- ・ 中学校は1万2,477人で、前年度間より609人増加（5年連続減少していたが転じて増加）
- ・ 最も多い長期欠席理由は、小学校が「病気」で2,248人、中学校が「不登校」で8,003人
- ・ 小学校では、約247人に1人、中学校では、約32人に1人が不登校

#### (2) 不登校による長期欠席者の他府県比較

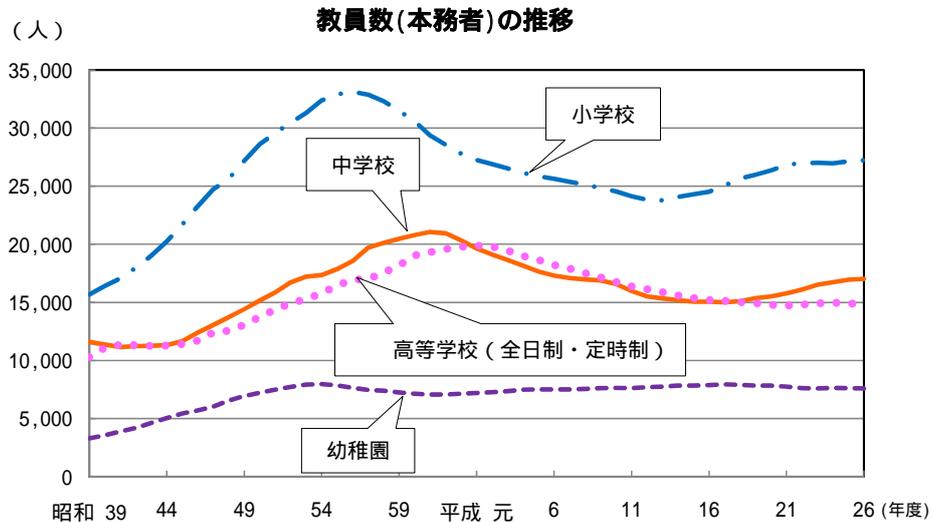


- ・ 大阪府の小学校は、平成21年度間まで減少が続いたが、平成24年度間より2年連続増加
- ・ 大阪府の中学校は、平成22年度間まで減少が続いたが、平成23年度間より3年連続増加
- ・ 平成25年度間は、小学校・中学校ともに全国的に増加傾向
- ・ 平成25年度間の小学校は東京都が最も多く、神奈川県、愛知県と続く。大阪府は全国4番目
- ・ 平成25年度間の中学校は東京都が最も多く、大阪府、神奈川県と続く

## 4 教員数（本務者）

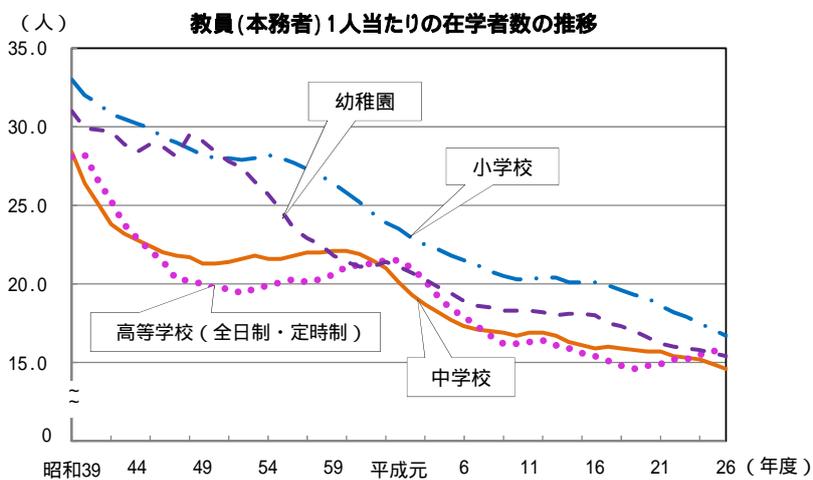
小学校・中学校は増加傾向

### （1） 教員数（本務者）の推移



- ・ 幼稚園は7,596人で、前年度より22人減少（2年連続減少）
- ・ 小学校は2万7,215人で、前年度より82人増加（2年連続増加）
- ・ 中学校は1万7,025人で、前年度より71人増加（9年連続増加）
- ・ 高等学校（全日制・定時制）は1万4,901人で、前年度より20人増加（前年度より増加）

### （2） 教員（本務者）1人当たりの生徒（在学者）数



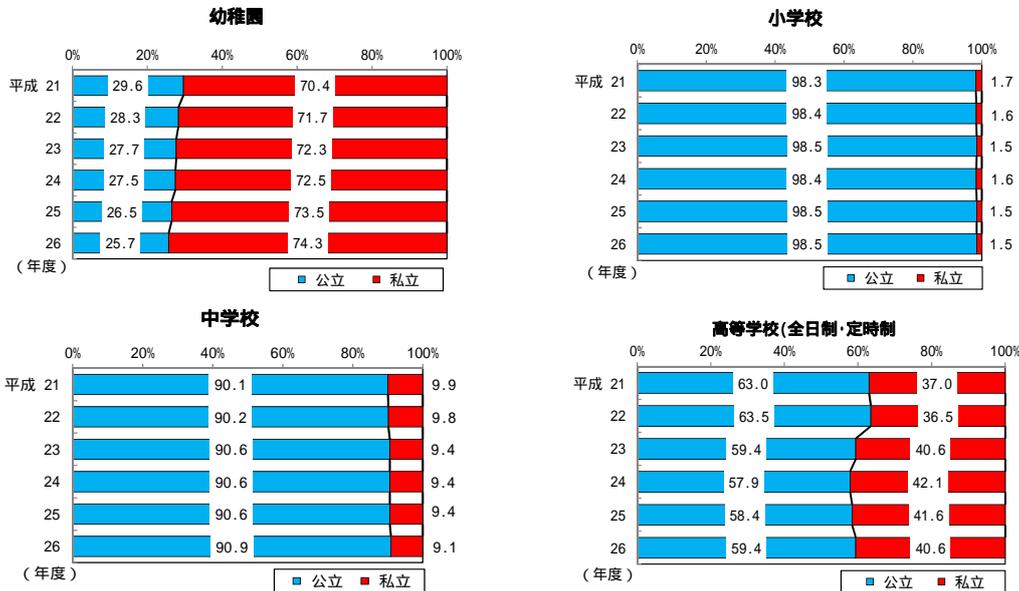
- ・ 幼稚園は15.4人で、前年度より0.2人減少（11年連続減少）
- ・ 小学校は16.7人で、前年度より0.3人減少（14年連続減少）
- ・ 中学校は14.6人で、前年度より0.3人減少（5年連続減少）
- ・ 高等学校（全日制・定時制）は15.9人で、前年度より0.2人増加（7年連続増加）

## 5 公立・私立別入学状況の推移

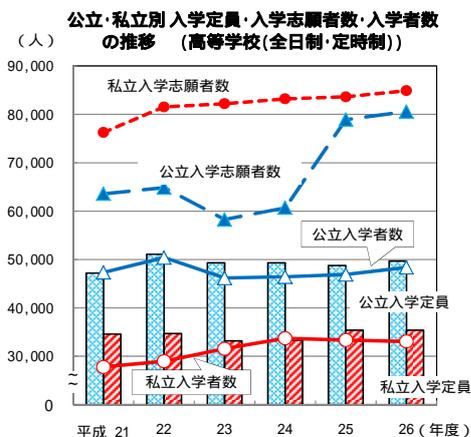
幼稚園の入園者割合は、私立が上昇傾向

高等学校（全日制・定時制）の同割合は、私立が2年連続上昇の後、2年連続低下

### (1) 公立・私立別入学（園）者数の割合の推移



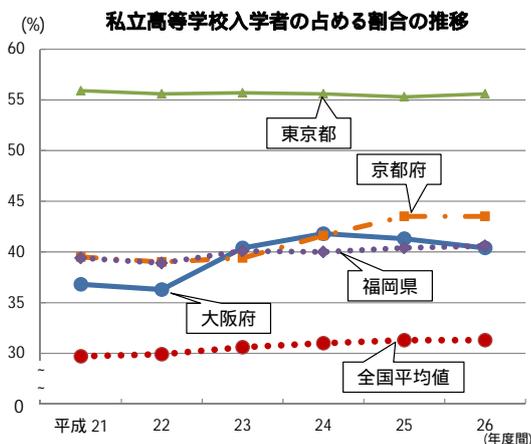
### (2) 入学定員・入学志願者数・入学者数の推移（高等学校（全日制・定時制））



#### 大阪府の授業料支援制度

- 平成 22 年度 公立高校生の授業料無償化
- 平成 23 年度 私立高校生等授業料支援補助金の拡充
- 平成 24 年度 公立高等学校入学者選抜（前期・後期）の拡充
- 平成 26 年度 高等学校等就学支援金制度の見直し（所得制限の導入）

### (3) 入学者のうち私立への入学者の占める割合（高等学校(全日制・定時制)）



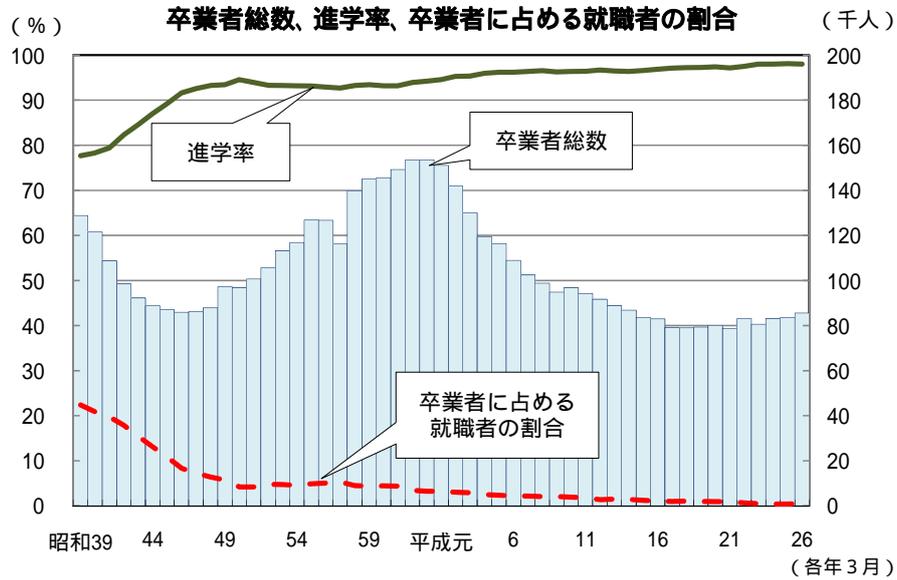
- ・大阪府は 40.4% で、平成 23 年度以降 4 年連続 40% 超え
- 平成 26 年度の他府県比較
- ・大阪府は全国平均を 8.9 ポイント上回る
- ・都道府県別では東京都が最も高く、京都府、福岡県と続く。大阪府は 4 番目

## 6 中学校の卒業後の状況

進学率は98.0%

卒業者に占める就職者の割合は0.5%

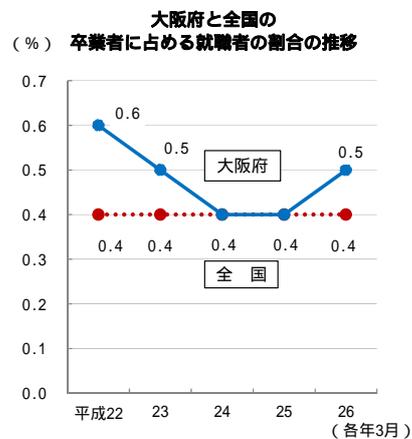
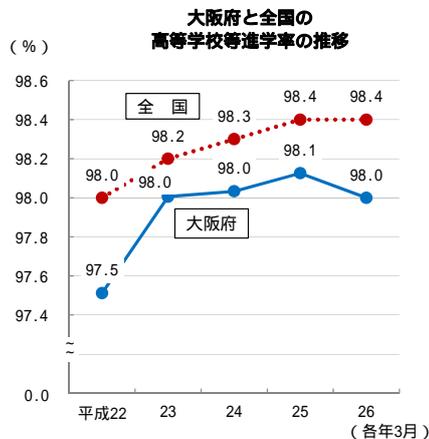
### (1) 卒業生総数、進学率、卒業者に占める就職者の割合の推移



区分	高等学校等への進学率	卒業者に占める就職者の割合
平成 22年3月	97.5%	0.6
23	98.0	0.5
24	98.0	0.4
25	98.1	0.4
26	98.0	0.5

- ・卒業生は8万5,560人で3年連続増加（ピーク時 昭和63年度15万3,542人の55.7%）
- ・進学率は98.0%（過去最高から転じて低下）
- ・卒業者に占める就職者の割合は0.5%（2年連続過去最低から転じて上昇）

### (2) 全国平均との比較



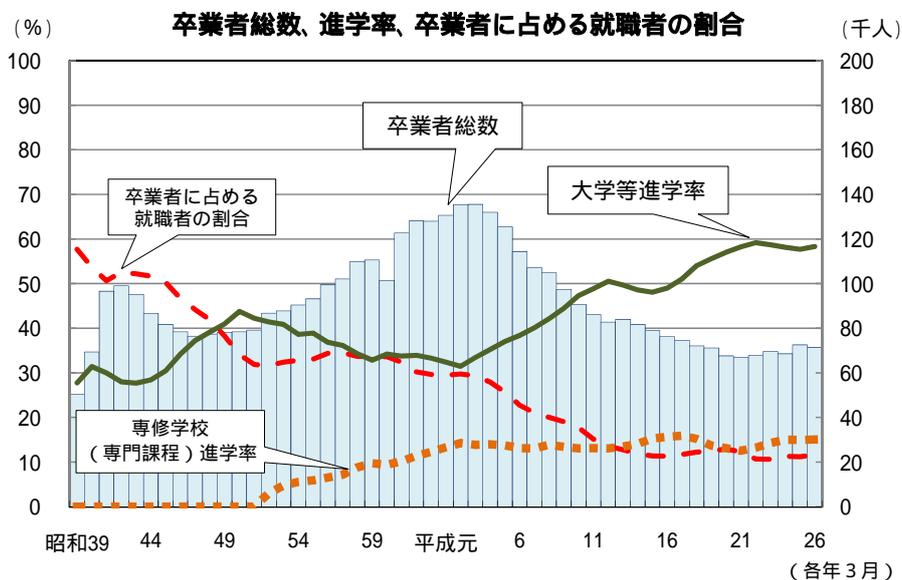
- ・高等学校等への進学率は、大阪府は全国平均より0.5ポイント(\*)低く、全国39番目
- ・卒業者に占める就職者の割合は、大阪府は全国平均より0.1ポイント高く、全国10番目

(\*)2ページ「利用上の注意」3を参照

## 7 高等学校（全日制・定時制）の卒業後の状況

大学等への進学率は10年連続50%超え  
 専修学校（専門課程）への進学率は増加傾向  
 卒業者に占める就職者の割合は11.6%

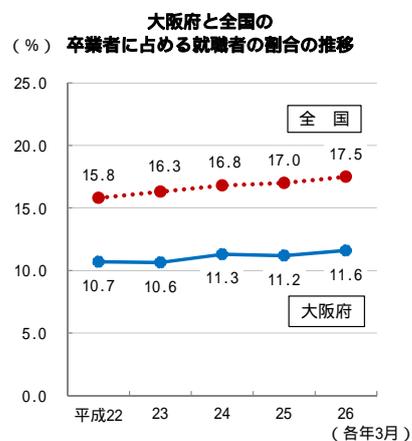
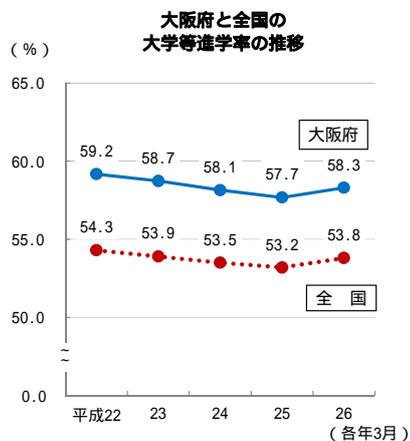
### (1) 卒業生総数、進学率、卒業者に占める就職者の割合の推移



区分	大学等への進学率	専修学校(専門課程)への進学率	卒業者に占める就職者の割合
	%	%	
平成 22 年3月	59.2	13.2	10.7
23	58.7	14.3	10.6
24	58.1	15.0	11.3
25	57.7	15.0	11.2
26	58.3	15.1	11.6

- ・ 卒業生は7万1,422人で前年より1,084人減少（ピーク時 平成3年度13万5,563人の52.7%）
- ・ 大学等への進学率は58.3%（前年より0.7ポイント(\*)上昇）
- ・ 専修学校（専門課程）への進学率は15.1%（前年より0.1ポイント上昇）
- ・ 卒業者に占める就職者の割合は11.6%（前年より0.4ポイント上昇）

### (2) 全国平均との比較



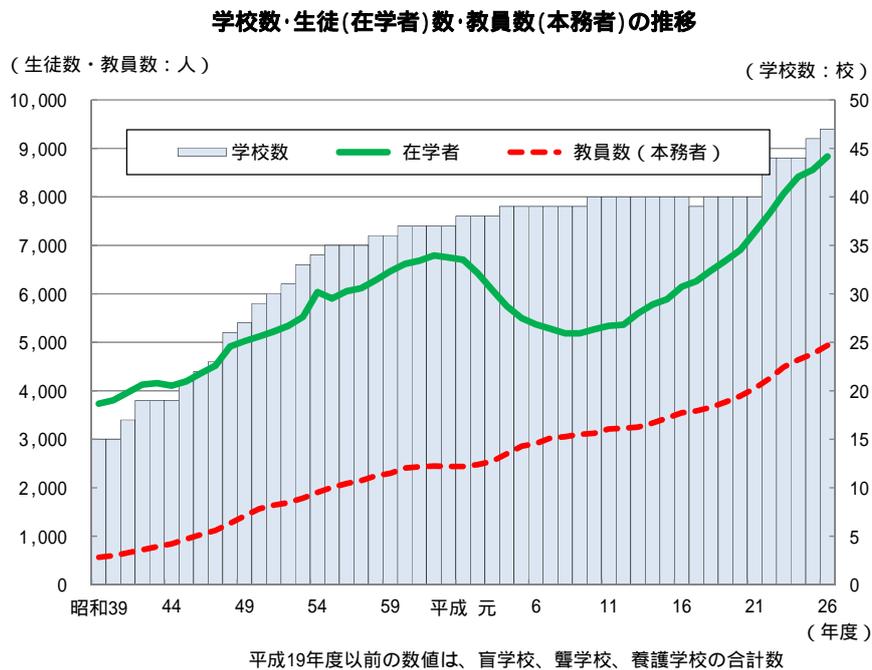
- ・ 大学等への進学率は、大阪府は全国平均より4.6ポイント(\*)高く、全国7番目
- ・ 卒業者に占める就職者の割合は、大阪府は全国平均より5.9ポイント低く、全国44番目

(\*)2 ページ「利用上の注意」3を参照

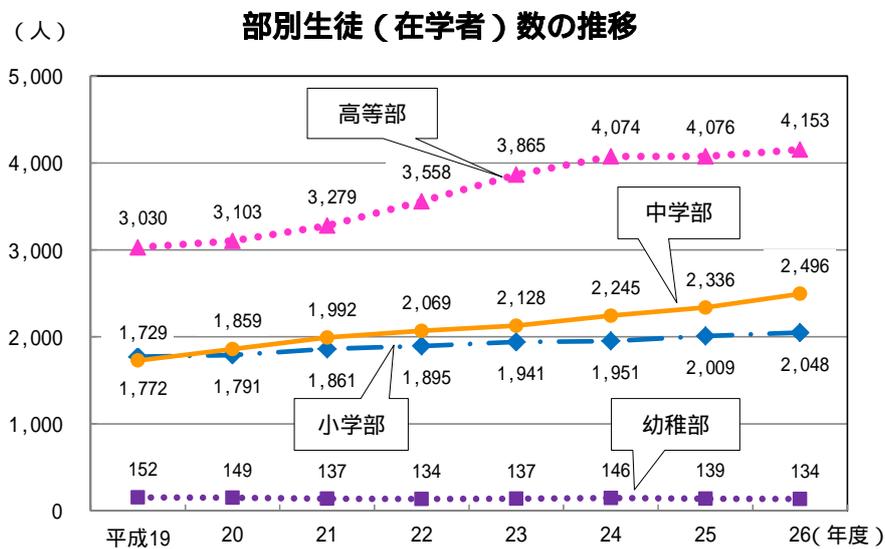
## 8 特別支援学校

学校数、在学者数、教員数（本務者）ともに過去最高

### （１）学校数・生徒（在学者）数・教員数（本務者）の推移



### （２）部別生徒（在学者）数の推移

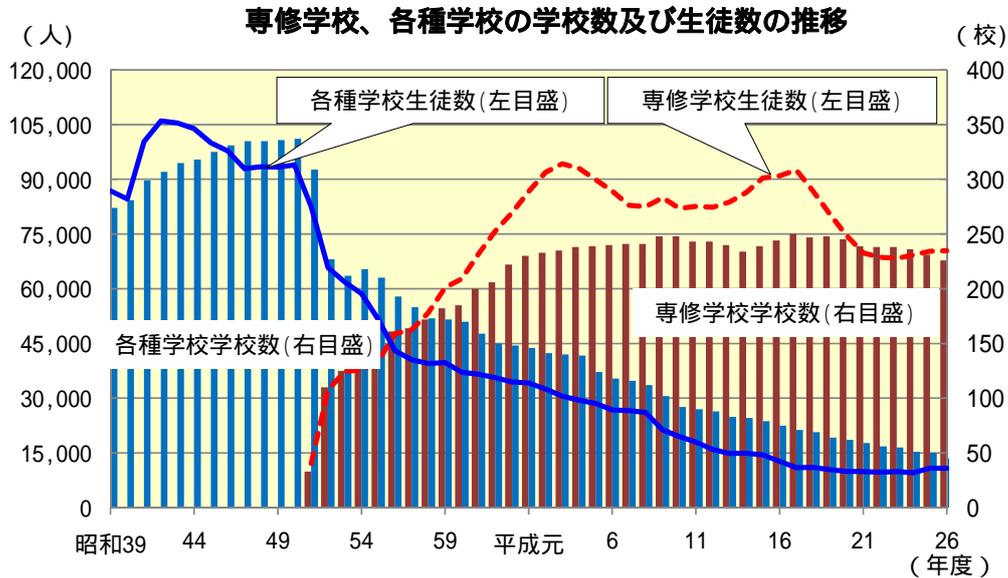


- ・学校数は47校で、前年度より1校増加（2年連続増加）
- ・在学者総数は8,831人で、前年度より271人増加（18年連続増加）
  - 幼稚部の生徒数は134人で、前年度より5人減少
  - 小学部の生徒数は2,048人で、前年度より39人増加
  - 中学部の生徒数は2,496人で、前年度より160人増加
  - 高等部の生徒数は4,153人で、前年度より77人増加
- ・教員（本務者）は、4,938人で、174人増加（25年連続増加）

## 9 専修学校・各種学校

各種学校の学校数は35年連続減少で過去最低  
 専修学校の生徒数は3年連続増加

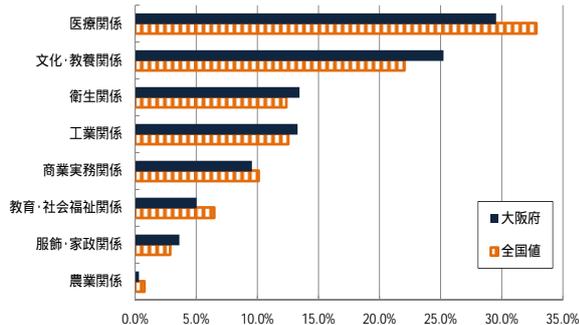
### (1) 学校数及び生徒数の推移



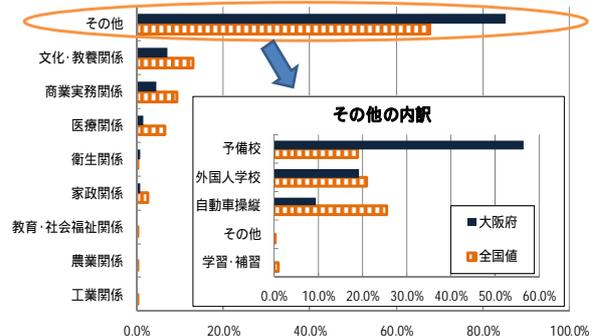
- ・専修学校の学校数は226校で、前年度より5校減少（3年連続減少）
- ・専修学校の生徒数は7万409人で、前年度より143人増加（3年連続増加）
- ・各種学校の学校数は45校で、前年度より5校減少（35年連続減少）
- ・各種学校の生徒数は1万790人で、前年度より24人減少（前年度より減少）

### (2) 分野別構成比の全国平均との比較

専修学校生徒数の分野別構成比の全国値との比較



各種学校生徒数の分野別構成比の全国値との比較



- ・専修学校生徒数は、全国で最も割合の高い「医療関係」では、全国平均を3.3ポイント下回っている  
 また「文化・教養関係」では3.2ポイント上回っている
- ・各種学校生徒数は、「予備校」が56.4%と過半数を占めており、全国平均の19.1%よりも37.3ポイント上回っている  
 また全国で最も割合の高い「自動車操縦」では、全国平均を16.1ポイント下回っている